

# 名鉄病院newsletter

平成 22 年 新春号



撮影 地域医療連携室 古澤敦子

## ごあいさつ

名鉄病院 副院長兼安全管理室長 野寄 英樹

平素は当院との医療連携にご理解いただき、大切な患者様をご紹介いただきましてありがとうございます。H18年地域連携室の開設以来、私が担当します外科でも紹介の患者様を治療させていただくことによって手術件数は少しずつ増加してきました。その結果、平成20年は全身麻酔手術数464件とこれまでで最も多く行うことができました。患者様が名鉄病院で手術を受けて良かった、そしてご紹介いただいた先生方が病診連携によって患者様の診療が順調にいったよかったですとだけいただけるようにこれからも努める所存です。もちろん当科だけでなく病診連携を充実発展させることは当院にとって最も大切な課題であり、佐尾地域医療連携室長のもとに職員一同さらに前向きに取り組んでいきたいと思っております。そのひとつとして、この名鉄病院ニュースレターで各科の診療内容やスタッフの紹介など当院の情報を提供させていただくことにより、先生方と名鉄病院がより身近になることを願っております。

# PSG（終夜睡眠ポリグラフィー）検査を開始しました

耳鼻咽喉科部長

秋田 泰孝

## ◆はじめに

今まで当院では SAS（睡眠時無呼吸症候群）が疑われる患者さんに対しての検査は、在宅での簡易スクリーニング検査しか行えませんでした。このため、スクリーニング検査の結果、詳細な検査が必要な患者さんに対しては他院へ紹介して PSG（終夜睡眠ポリグラフィー）検査を行って頂かなくてはいけなかったため、先生方と患者さんに多大な御面倒をおかけしていました。しかしこの度、PSG 検査を行える体制が整い、当院で SAS の確定診断をすることができるようになりましたので、紹介させていただきます。



PSG 本体

## ◆検査の流れ

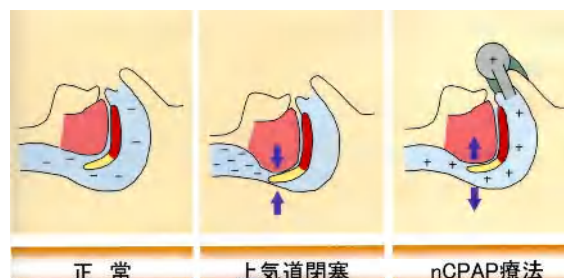
この検査は 1 泊入院して頂いて行うものであり、夕方に入院して頂き、翌朝検査終了後に退院して頂けますので、日常生活にあまり支障を来すことなく検査を受けることができる流れとなっております。通常、結果は後日当科外来で説明させていただきますが、SAS に携わっておられるような先生からの御紹介で、御希望があれば結果のレポートを郵送させて頂き、紹介元の先生の所で患者さんが検査結果を聞くことも可能です。この場合は御紹介時に一言、その旨を添えて頂けますと幸いです。



PSG 検査の様子

## ◆検査後の治療

PSG の結果により SAS と診断された場合、全身状態や閉塞部位・様式などを考慮して、患者さんと治療方法を相談の上、鼻、咽喉などの耳鼻科手術、nasal - CPAP 治療（経鼻的持続陽圧呼吸療法）、歯科器具などでの治療を選択して行います。また、nasal - CPAP 治療を患者さんが選択された場合も紹介元の先生の所で治療を行うことも可能です。従って、当院では検査を行うだけで、あとは紹介して頂いた先生の所で結果説明や治療を行える場合も出てきます。



nasal - CPAP 治療の原理

## ◆先生方へのお願い

以上、今回新しく開始された PSG 検査について紹介させて頂きました。SAS が疑われるような患者さんが見えたら、是非、御紹介の程、よろしくお願い申し上げます。

## ◆予約方法について

地域医療連携室にて受付をさせていただきます。所定の紹介患者連絡書の検査依頼項目のその他欄に PSG とご記入いただき FAX いただければご予約をさせていただきます。



nasal - CPAP 治療の様子

# 血液内科の紹介

血液内科部長 飯田浩充

## ◆血液内科スタッフ

副院長（地域医療連携室長）	佐尾 浩
血液内科部長	飯田 浩充
血液内科付部長	神谷 悦功
	林 磨由子

7月より飯田が血液内科部長を務めております。主として白血病の治療と造血幹細胞移植を学んできました。神谷付部長はがん化学療法の実験家であり、悪性リンパ腫を中心とした化学療法全般に広い知識をもっています。林医師は卒後5年目の働き盛りで、日々難しい症例と格闘しています。



神谷 佐尾 飯田 林

## ◆血液内科の特徴

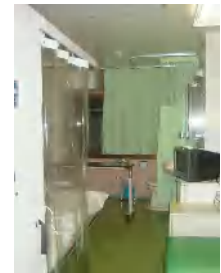
名古屋はもともと血液内科の盛んな地域であり、特に日本の骨髄移植はこの地域から発展したといっても過言ではありません。そのため名古屋には日本を代表する移植病院がいくつかありますが、名鉄病院もその一つです。今の無菌病棟は1993年に完成しました。これまでの造血幹細胞移植数は累積450例を超えています。年間の造血幹細胞移植数こそ最近では東京などのマンモス病院に及びませんが、それでも毎年30例前後の造血幹細胞移植を行っています。中でも骨髄バンクより骨髄の提供を受けて行う非血縁同種骨髄移植については、その累積症例数は220例を超え、平成20年度の日本造血幹細胞移植学会の集計によれば全国4位です。造血幹細胞移植の分野では、わが名鉄病院は結構名の知れた病院なのです。



無菌病棟と看護スタッフ

## ◆血液内科の運営

10床の無菌病棟と内科系病棟に、常時40～50名の患者さんが入院されています。その多くは、白血病や悪性リンパ腫といった悪性疾患です。当院では病棟に空床があれば診療科にこだわらず、可能な限り患者さんを受け入れる体制にあります。我々の扱う疾患では緊急の入院を必要とする場合が多いのですが、時にはいったん外科系の病棟に入院していただくこともあります。このような柔軟な病棟運営は、大病院ではかえって難しいことだと思います。その点では、入院が必要な患者さんに対して迅速に対応することができます。造血幹細胞移植についても、10床ある移植病室を有効に活用し、急な移植依頼にも対応できるようにしています。血液内科でも、最近では他の分野と同様高齢の患者さんが増えてきました。高齢の方にはその方の全身状態、生活状況に見合った治療法を考えることが必要です。一方で、以前は50歳までと言われていた造血幹細胞移植の適応も、骨髄非破壊的前治療法などの導入により65歳程度まで拡大しており、完治を目指してより強力な治療を希望される方もみえます。1人1人の状態に応じた治療を選択しています。



無菌病室

## ◆先生方へのお願い

名鉄病院血液内科は、地域の中核病院として、通院で行う治療から造血幹細胞移植まで、幅広い医療を提供することができます。

悪性腫瘍ばかりを診ているわけではありません。貧血、リンパ節が腫れた、あるいは不明熱などお困りの症例があれば是非ご紹介ください。

## 新しく赴任した医師のご紹介

### ■ 菊地 均（予防接種センター）

名古屋検疫所から参りました菊池と申します。広島大学の平成2年卒です。検疫所では黄熱等のワクチンを接種しておりました。趣味はパソコンとバイクです。よろしくお願いいたします。



### ■ 永田 俊人（小児科）

この度名古屋大学小児科より赴任して参りました、永田俊人と申します。一般小児科を担当いたします。不慣れな点も多く、御迷惑をおかけする事が多々あるかと存じますが、よろしくお願いいたします。



### ■ 大橋 一郎（放射線科）

1月から放射線科の常勤として着任する大橋です。放射線診断全般、IVRなど、微力ながらお手伝いができればと思います。頑張りますので、よろしくお願いいたします。



## 名鉄病院パノラマコンサートを開催

12/5（土）名古屋大学医学部混声合唱団のみなさんによるパノラマコンサートが開催され、『ふるさと』、『上を向いて歩こう』をはじめ、『きよしこの夜』、『涙そうそう』他全8曲を披露した。



## 栄生小学校からの贈物

栄生小学校3年生のみなさんが心をこめて育てあげた『菊の花』です。



## 医療コンシェルジュTV放映

NHKより、医療コンシェルジュの取材がありました。名鉄病院では、患者様サービスのために医療コンシェルジュが在籍しています。紹介患者様がスムーズに受診できるようにサポートをいたします。

※取材内容は、平成22年1月6日（水）

『ゆうどきネットワーク』

16:50~18:00 放映予定



医療コンシェルジュ 古澤

## 名鉄病院クリスマスコンサートを開催

12/24（木）クリスマスコンサートが開催された。名古屋鉄道 brassバンド部による演奏をはじめ、看護師とベルラフィーユによる楽器演奏やハンドベルによる『あわてんぼうなサンタクロース』をはじめ『聖しこの夜』『もろびとこぞりて』『We wish Merry Christmas』などが演奏された。また、保育所の子供達と看護師・保育士による劇『シンデレラ』が行われ、出演した子供達には、サンタさんよりプレゼントがあった。



## 名鉄電車を使ってお出かけしてはいかがでしょうか？

### サービス介助士さんをご存知ですか？

名鉄電車の駅には、ご高齢の方や身体に障害があるお客様のために、電車の乗り降りをお手伝いして下さるサービス介助士の資格がある駅員の方が配置されています。

『電車に乗ってチョットお出かけしたいな！ でも足が悪いから無理だね、電車に乗れない！』

『今日は病院におじいさんを連れて行く日なのに息子は仕事を休めない！車椅子で電車に乗れないから病院に行くのをあきらめようかな？』

“**チョット お待ちください**” 名鉄電車の駅に相談しましょう。

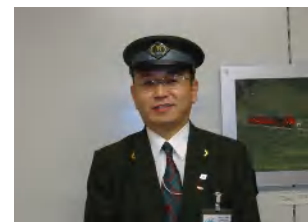
こんな時 みなさまに強い味方のサービスがあります。

サービス介助士さんに連絡をしてみたらどうでしょうか！

寒い日のお出かけは、暖かくゆったりと電車に乗って車窓を楽しむのもまた、セントレアに出かけ飛行機の飛び様子を観るのも爽やかな気分になれるかな・・・！

栄生駅にもサービス介助士の駅員の方が配置されています。受診時電車の乗り降りでお困りの方は、駅に直接ご連絡されてはいかがでしょうか！

※栄生駅（052-551-4732）



サービス介助士  
大野さん



## 抵抗力をつけるメニュー ～かぜやインフルエンザの季節に～

栄養管理科 北林 由布子

旬の野菜には、ビタミンが豊富に含まれていて、抵抗力をつけるために是非おすすめです。たとえば、『ブロッコリー』に含まれているカロテンは、夏に比べ冬～春先には、約4倍量となり、ビタミンCは約2倍量となります。また、冬野菜の代表『大根』には、消化酵素”ジアスターゼ”を多く含み、消化不良や胸やけにいいことが、良く知られています。

### 【冬野菜のホワイトシチュー】 ～1人分 358kcal 塩分 2.1g～

#### ○材料（4人分）

ブロッコリー・・・・・・・・・・1/2株	ウインナーソーセージ・・・・・・・・・・8本
玉ねぎ・・・・・・・・・・1個	バター・・・・・・・・・・大さじ1
じゃがいも・・・・・・・・・・2個	スープ（固形コンソメ1個分）・・500CC
にんじん（小）・・・・・・・・・・1本	ホワイトソース缶(285g)・・・・1缶
大根・・・・・・・・・・300g	塩コショウ・・・・・・・・・・少々



#### ○作り方

1. ブロッコリーを小房に分けて下ゆでする。
2. たまねぎは大きめのくし切り、じゃがいもは皮をむいて乱切り、にんじんと大根は乱切りにし下ゆでする。
3. ウインナーソーセージは乱切りにする。
4. 鍋にバターを熱し、たまねぎを透き通るまで炒めて、スープを加え、残りの2を加えてひと煮たちさせる。
5. 4にホワイトソースをいれ、1と3を加えて4～5分煮、塩コショウで味を調える。

## 連携室より一言

このたび、新たに、予防接種センター、小児科、放射線科に3名の医師をむかえることができました。それぞれ経験豊富な先生方で、各科とも今まで以上に充実した診療が可能になるはず。これまで以上の受入・対応が可能になると思いますので、よろしく願いいたします。

特に、放射線科の大橋先生は、当院にとり、約5年ぶりの専任常勤医師の復活です。この5年間、外部の先生からの放射線検査のご依頼に関しては、ご不便をおかけしたことと思います。大橋先生は放射線診断の専門家です。今後、大橋先生と相談のうえ、よりスムーズな放射線検査の受入を考えていきたいと思っております。本ニュースレターの次号で、紹介させていただく予定ですのでご期待ください。  
(地域医療連携室長 佐尾 浩)

名鉄病院 医療支援センター 地域医療連携室  
〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11  
TEL.052-551-6121(代) 052-586-5755(連携室) FAX.052-586-5756  
URL : <http://www.meitetsu-hospital.jp/>